

日本から世界へ向けて、安全で効果的なエボラワクチンを！

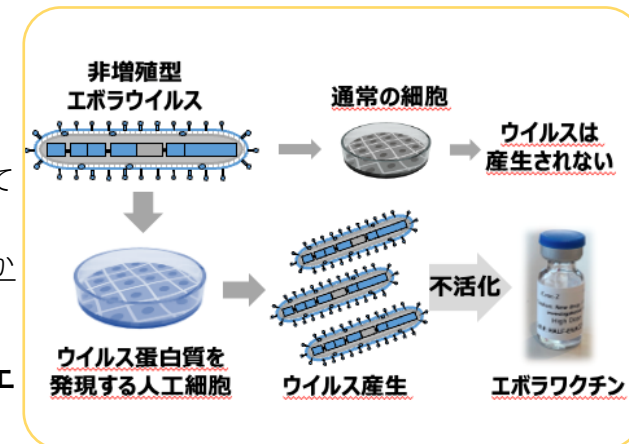
自己紹介



”Save the world”をテーマに掲げ、インフルエンザウイルス、エボラウイルスや新型コロナウイルスなどの制圧を目指して研究を進めています。

どんな新しい技術ですか？

1. モダリティの特徴・新規性
モダリティ：**非増殖型ウイルス（不活化）**
新規性：ウイルス増殖に必須な遺伝子を欠損しているため、**安全性が高い**です。
2. どのような課題が解決できると期待できるか
現在海外で承認されているエボラワクチンには、安全性や製造効率等に懸念があります。本プロジェクトによって、**日本発の、安全で効果的なエボラワクチンの実用化**を目指します。



どんな研究ですか？

新規モダリティワクチンとして、**増殖に必須な遺伝子を欠損したエボラウイルスを基盤としたエボラワクチン**を提案・開発します。アジュバントを加えた本ワクチンについて、動物における有効性の検討を行ったのちに、第一相臨床試験(実際にヒトにワクチンを接種する試験)を実施し、安全性並びに有効性について検証します。

エボラワクチン

動物モデルを用いた、
安全性・有効性の検証



ヒトでの
安全性・有効性の検証



東大医科研附属病院における
第一相臨床試験

どんなことが解決できますか？

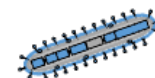
1. 研究開発の達成目標

日本発の、安全で効果的なエボラワクチンの実用化を目指します。

2. 期待される成果

非増殖型ウイルスのため、病原性が高く危険なウイルスであっても、安全にワクチンウイルスを産生することができます。そのため、エボラウイルスだけでなく、他の危険なウイルスに対するワクチンの開発が進むことが期待されます。

遺伝子を欠損した
非増殖型ウイルスを基盤とした
エボラワクチンの実現



- ✓ 日本発のエボラワクチン
- ✓ 高い安全性と有効性

他の危険な感染症にも
適用可能な新しいワクチン
モダリティの開発

基本情報

対象病原体	エボラウイルス
モダリティ	遺伝子組換え非増殖型ウイルス（不活化）
投与経路	筋肉内投与
開発支援期間 （予定）	2027年3月
開発企業 （アカデミア） 連携の有無	塩野義製薬株式会社、大阪大学